

豊田市PCB処理 安全監視委員会だより

平成 18 年 3 月
第 8 号

豊田市では、日本環境安全事業㈱が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性、環境保全の確保のために、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、施設の計画や建設、操業などを監視しています。

委員会の活動内容は、この「委員会だより」や市のホームページなどで公開しています。

平成 17 年度第 3 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会について

平成 18 年 1 月 31 日(火)午前 10 時から豊田産業文化センター大会議室において、平成 17 年度第 3 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会が開催されました。

委員会には安全監視委員 11 名のほか、環境省産業廃棄物課、オブザーバーとして愛知県環境部廃棄物対策課と豊田市消防本部、処理事業者の日本環境安全事業㈱が出席しました。また 5 名の方が委員会を傍聴されました。



委員会では委員長及び副委員長の改選が行われ、委員長には豊橋技術科学大学教授の藤江幸一様が再任され、副委員長には竜神コミュニティ代表の兵藤勝利様が指名されました。

【議事内容(要旨)】

(1) PCB 漏洩事故後の現在までの市の対応について

11月に発生した PCB 漏洩事故に関して、市が実施した処理施設への立入の状況や、日本環境安全事業㈱へ指導などについて、事務局から報告がありました。

(2) PCB 漏洩事故の原因と対策(中間報告)について

PCB 漏洩事故の原因究明の状況や、再発防止対策、処理施設の総点検の状況などについての報告が、日本環境安全事業㈱からありました。

【PCB 漏洩事故の原因と対策（中間報告）について】

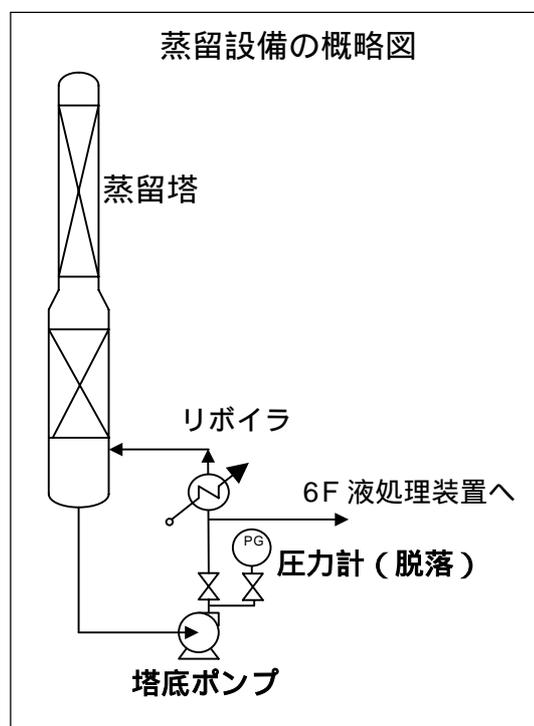
PCB 漏洩事故発生後、日本環境安全事業(株)では事業担当取締役を委員長とした「事故対策委員会」を設置し、事故の原因究明や再発防止対策を検討しています。

この事故対策委員会が取りまとめた中間報告に基づいて、PCB 漏洩事故の原因究明の状況や、再発防止対策、処理施設の総点検の状況などについて報告がありました。

（事故の内容と原因）

第 1 蒸留塔塔底ポンプの圧力計が脱落し、防油堤内に PCB 濃縮洗浄油（温度：約 200℃、漏洩量：約 200L、PCB 濃度：約 90%）が漏洩
[原因]

- ・圧力計の接続に袋ネジを使用しているため、フランジや溶接接続と比較すると緩みやすい構造であった。
- ・事故の約 50 時間前にパッキン材質をテフロン製に変更しており、使用温度等の運転条件に対して不適切であったため締付トルクが低下。
- ・圧力計取り付けの袋ネジ部締付トルクが、吐出弁を開けたときの異常振動(流体関連振動)によりさらに低下。
- ・その後、ポンプ運転による微振動で徐々に緩み、脱落に至った。



蒸留エリアに隣接した天井裏に PCB 蒸気が一部移行。

[原因]

- ・蒸留エリア、小型トランス解体エリアの天井裏等の配管貫通部等の仕舞が不十分で隙間が空いていたため、この天井裏が負圧となり、蒸留エリアで漏洩した PCB の蒸気が天井裏を介して漏洩した。

中央制御室作業員の操作対応が遅れ、第 6 系統排気口から PCB 蒸気が漏洩。

[原因]

- ・運転会社に対する教育が不十分であったため、活性炭処理系統への切替操作が遅れた。

【委員からの主な質問と回答】

質問

事故当時に処理中であった PCB はどうなっているのか。

<回答> (日本環境安全事業株式会社)

事故が起きた時に処理中であった PCB は最後まで処理したが、それ以降の処理はしていない。(反応を途中で止められないため)

質問

地域住民への情報提供の初期対応はどうだったのか。

<回答> (事務局)

市は日本環境安全事業(株)から報告を受けてから報道機関に発表した。地元には日本環境安全事業(株)から連絡するよう指示した。

質問

銅製のパッキンをテフロン製に取り替えたということだが、今まで使っていたものを簡単に変えてしまうのか。

<回答> (日本環境安全事業株式会社)

素材の変更を現場の判断で行ったことは、大変遺憾である。こういうことは本来あってはならないことと認識している。

意見・要望

- ・たとえ小さな漏出であっても、大きな問題として捉えていただきたい。
- ・どういうトラブルがあって、どういう対策をしているのか、第一報でもいいから早い情報開示をお願いしたい。
- ・地元自治区や近隣企業にはその日の内には電話連絡を入れてほしい。
- ・減圧蒸留を利用して操業をしているプラントに従業員を派遣して研修を受けるなど、ノウハウを集積するべきである。

事故現場の現地確認

【事故現場の現地確認】

平成18年2月16日、17日に、安全監視委員による PCB 漏洩事故現場の現地確認が行われました。



漏洩箇所（蒸留塔エリア）



蒸留塔エリアの壁の隙間の確認

【豊田市 PCB 処理安全監視委員会委員】(:委員長 :副委員長)

周辺自治区の代表

	森川 直喜	朝日丘コミュニティ
	江坂 俊彦	逢妻コミュニティ
	兵藤 勝利	竜神コミュニティ
	太田 忠良	竜神コミュニティ
	都築 益夫	若林コミュニティ
	寺田 敏	若園コミュニティ

公募市民

	浅野 智恵美	環境カウンセラー
	伊藤 圭一	会社員
	三浦 聖子	看護師

周辺企業代表

	金子 孝博	大豊工業株式会社
--	-------	----------

学識経験者

	岡本 勝司	豊田加茂医師会
	藤江 幸一	豊橋技術科学大学工学部教授
	松田 仁樹	名古屋大学大学院工学研究科教授

【豊田 PCB 廃棄物処理事業に関するお問合せ】

日本環境安全事業株式会社

豊田事業所

豊田市細谷町 3 丁目 1 番地 1

TEL : 0565 - 25 - 3110

FAX : 0565 - 24 - 0543

処理施設は見学ができます。

上記の連絡先でご予約ください

日本環境安全事業株式会社

東京都港区芝 1 - 7 - 17

住友不動産芝ビル 3 号館 4 階

TEL : 03 - 5251 - 1017

FAX : 03 - 3592 - 5606

<http://www.jesconet.co.jp>



安全監視委員会の傍聴ができます。詳しくは広報とよたなどでお知らせします。安全監視委員会にて配布された資料は、市ホームページまたは日本環境安全事業(株)ホームページにて公開されています。

【連絡先】

豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局

豊田市環境部環境保全課

TEL : 0565-34-6628

FAX : 0565-34-6684

E-mail : k_hozen@city.toyota.aichi.jp

<http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ae03.htm>